

第27回鈴鹿市文芸賞の受賞作品が決まりました

◆一般の部

(敬称略、同賞内順不同)

| 賞 | ジャンル | 氏名 | 作品名/作品 |
|------|--------|----------|---|
| 最優秀賞 | 小説・評論等 | 野間 信樹 | 岬の蔭で |
| | エッセイ | 富田 武彦 | 白い子犬と赤トンボ |
| | アフォリズム | さいとう えいか | 「国を守るためには血を流さねばならぬ時もある」と言う人は大抵安全な場所にいる |
| | 詩 | 舟越 幸子 | まっている |
| | 短歌 | 伊東 さよ子 | 干し柿 |
| | 俳句 | 戸田 保彦 | 雪虫 |
| | 川柳 | 澁谷 さくら | アンバランス |
| 優秀賞 | 小説・評論等 | 澤田 悟 | 細胞の記憶 |
| | エッセイ | 平 英男 | 旭川。 |
| | アフォリズム | 小川 はつこ | 自国への誇りから生まれた愛国心は気高いが、他国への敵愾心から生まれると 爆弾になる |
| | 詩 | 桐山 勲 | 飼わない |
| | 短歌 | 稲垣 敏子 | モダンな風が |
| | 俳句 | 米木 扶美子 | 花火 |
| | 川柳 | 中川 知子 | 主婦のつぶやき |

| 賞 | ジャンル | 氏名 | 作品名/作品 |
|-----|--------|--------|--|
| 奨励賞 | 小説・評論等 | 木村 よし子 | 帰ってきた娘 |
| | 小説・評論等 | 東 真理子 | はな 桜に珈琲を |
| | エッセイ | 宮崎 米子 | 精一ぱい生きた私の人生「昭和」 |
| | アフォリズム | 伊藤 久昭 | 「記憶にございません」。平然とおっしゃられると、どうしても記憶があるように聞こえる。 |
| | 詩 | 田中 静雄 | 西郷南洲を詠ず |
| | 短歌 | 樋口 哲司 | 京の夜 |
| | 短歌 | 渡部 明美 | ディエゴの花 |
| | 俳句 | 山本 城 | マリアとムンク |
| | 俳句 | 仲見 たかし | 早春賦 |
| | 川柳 | 瀬田 明子 | タイムスリップ |
| 川柳 | 毎熊 伊佐男 | 老化現象 | |

◆ジュニアの部

(敬称略、同賞内順不同)

| 賞 | ジャンル | 氏名 | 作品名/作品 |
|------|--------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 最優秀賞 | 作文・童話等 | 打田 卓朗 | 東京野郎の夢花火 |
| | 詩 | 該当者なし | |
| | 短歌 | 城山 哩久 | ひまわりがぐんぐんのびていつの日か たどりつけるかあの空に |
| | 俳句・川柳 | 大橋 舞羽 | 夏草の上に眠るとむっとする |
| 優秀賞 | 作文・童話等 | 仲森 妃花 | おばあちゃんの向日葵 |
| | 詩 | 該当者なし | |
| | 短歌 | 岩崎 くるみ | 赤とんぼ羽がきらきらかがやいて秋の夕やけ 横切ってゆく |
| | 俳句・川柳 | 柏木 晴太 | かき氷一番星はレモン色 |
| 奨励賞 | 作文・童話等 | 長井 望楽 | 母という人 |
| | 作文・童話等 | 富士田 希美 | 時計との約束 |
| | 作文・童話等 | 由本 真菜 | 「雪団子、いかがですか?」 |
| | 作文・童話等 | 脇本 和幸 | オラクル |
| | 作文・童話等 | 植村 颯太 | 「本当の付度とは」 |
| | 詩 | 該当者なし | |
| | 短歌 | 秋山 心美 | 太陽のビタミン浴びてのびのびと みんなの笑顔さそうひまわり |
| | 短歌 | 平野 ことは | ピカピカとピカピカピカと太陽が ピカピカピカとひまわりてらす |
| | 短歌 | 大内 奏汰 | みつけた大きいおもしろいな ざくざくほってはやくたべたい |
| | 短歌 | 山田 耕太郎 | ゆうびんでポストにいれるお手紙だ 早くどいていい顔みたい |
| | 短歌 | 鈴木 美桜 | くりひろいちくちくいががささりそう いっぱいとったふくろがおもい |
| | 短歌 | 堤 煌成 | なつ休みしゅうりにだしたランドセル ぶじになおったさあ2がっきだ |
| | 短歌 | 小柴 唯愛 | ばあちゃんちおとまりをしてたのしいな おふろにはいっておふとんでねる |
| | 短歌 | 桑原 悠伍 | 秋がきた葉がかれおちるひらひらと かぜにふかれてゆっくりちやくち |
| 短歌 | 堀川 実優 | 大すきなおばあちゃん家の黒すいか いどでひやせば暑さもふつとぶ | |

| 賞 | ジャンル | 氏名 | 作品名/作品 |
|-------|--------|----------------|------------------------------------|
| 奨励賞 | 短歌 | 鈴木 光莉 | キラキラとかがやきながらふってくる ねころんでみるくま野の花火 |
| | 短歌 | 水野 雄大 | 雪を見て少しさびしい気もちへと いつまでつづく白い気もち |
| | 短歌 | 真弓 奏汰 | 夏休みもうすこしでねおわっちゃう でも本当はみなに会いたい |
| | 短歌 | 青木 梨々衣 | 帰り道緋色にそまる秋の空 夕日の前をカラスがよこぎる |
| | 短歌 | 伴 唯菜 | まどのとほつほつほつとしろいもの よくみてみるとゆきがふってる |
| | 短歌 | 福堀 由唯杜 | もりの木がかさかさゆれてメッセージ 森のきもちをしってみたい |
| | 短歌 | 高松 凜太郎 | たのしみは小づかい使いガンダムの プラモを買って組みたてる時 |
| | 短歌 | 由本 真菜 | 眼鏡かけ視界がパッと広がって なんだか少しかしこくなった? |
| | 俳句・川柳 | 高瀬 未莉 | 帰り道すすきが歌を歌ってる |
| | 俳句・川柳 | 笠井 亜希子 | 秋の庭かぜとおち葉がおにごっこ |
| | 俳句・川柳 | 古田 梓 | かんすずめ仲間と共に飛んでゆく |
| | 俳句・川柳 | 齊川 歩里 | にぎやかな声が近づく夏祭り |
| | 俳句・川柳 | 的場 羽衣音 | 虹の橋待てよ待てよと追いかける |
| | 俳句・川柳 | 中西 ほの香 | 節分だとうちゃんごめんと豆なげる |
| | 俳句・川柳 | 鈴木 希実 | 風鈴とともに揺れ出す恋心 |
| | 俳句・川柳 | 工藤 立暉 | 蟬時雨 ^{まさお} 蒼き空にこだまして |
| | 俳句・川柳 | 辻 陸斗 | 風鈴がきれいに鳴ると風が吹く |
| | 俳句・川柳 | 受野 夏輝 | 清流や渋滞気味の鮎の群れ |
| | 俳句・川柳 | 奥村 航稀 | 赤々と心に染まる初日の出 |
| | 俳句・川柳 | 矢田 陸人 | 砂の上で一つ輝く桜貝 |
| 俳句・川柳 | 加代 紅怜葉 | 花火咲く隣の君の笑顔咲く | |
| 俳句・川柳 | 中川 明夏 | 青空へ出発していくシャボン玉 | |